

募集内容・出願方法について

募集人員	20名程度
受講期間	令和7年4月中旬～翌年2月中旬（計40日間） 原則毎週木曜日18:00～21:00（計80コマ120時間）
開催場所	山梨大学 水素・燃料ナノ材料研究センター 他
受講料	無料（ただし、講義及び実習等に係る費用として実費（事業主負担）を申し受ける場合があります。）
出願資格	次の各号のいずれかに該当する方で、全講義（実習含む）に可能な限り出席でき、かつ、実習におけるグループ活動に協調いただける方 (1) やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトへ参加し、現在、水素・燃料電池分野で活動している、または今後、同分野への参入を目指している県内に事業所もしくは営業所等がある企業に勤務している方で、所属長の推薦が得られる方 (2) 水素・燃料電池分野において、技術、経営面等で県内製造業との連携や支援を行う企業・団体等に勤務し、所属長の推薦が得られる方 (3) 工学系大学、又は高専卒業程度の工学系基礎知識、設計・生産等の実務経験のある方で、県内の水素・燃料電池関連分野での就職又は企業を目指す方
出願方法	(1) 出願書類に必要事項をご記入の上、下記の提出先に郵送又はメールにて提出してください。 出願書類は、右QRコードよりお申し込みください。 メールにてデータをお渡します。 (2) 出願締切：令和7年3月31日(月)必着

詳細については、山梨県ホームページにてご確認ください。

水素・燃料電池産業技術人材養成講座

山梨大学講座専用ページ：<https://sway.cloud.microsoft/xUsAOCNdYWMXNJEK?ref=Link>



お問い合わせ先（出願書類提出先）

国立大学法人山梨大学 研究推進・社会連携機構
 水素・燃料電池技術支援室内 水素・燃料電池産業技術人材養成講座担当
 〒400-0021
 山梨県甲府市宮前町6-43
 E-mail: hfc-info@yamanashi.ac.jp
 TEL/FAX: 055-254-7161

受付時間：平日（月～金）8時30分～17時15分
 ただし、年末年始（12/29～1/3）を除く

令和7年度 山梨大学 水素・燃料電池産業技術人材養成講座 （やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト）



本講座を開講する山梨大学は、国家プロジェクト等により燃料電池に関する研究を50年以上も前から進めてきた世界最高レベルの研究拠点です。その成果は大手企業の製品にも活用されるなど、高度な技術を有しています。

【当講座受講のメリット】

- ① 水素・燃料電池関連製品開発に関する知識・技術の習得
- ② 水素・燃料電池関連の規制等に関する知識の習得
- ③ 講師や技術者等との人的ネットワークの構築
- ④ 受講企業との人的ネットワークの構築（修了生のOB会）
- ⑤ 講座終了後の手厚いフォローアップ



※ 本事業の募集は、山梨県の令和7年度予算成立後、速やかに事業を開始できるようにするため、予算成立前に募集の手続きを行うものです。本事業の実施は、令和7年度予算の成立が前提であり、今後、内容等が変更・中止になることもありますので、あらかじめご了承ください。

やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトにおける 水素・燃料電池産業技術人材養成講座

講義内容

『水素・燃料電池産業技術人材養成講座』とは

- 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現へ向け注目を集める水素と燃料電池について、その仕組みから製品技術、開発プロセスなど、業界の第一線で活躍する講師陣から直接学べる講座を山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターに開講します。
- 本講座は、平成28年度に開設し、これまで9年間で185名の技術者らが修了し、修了生を多く輩出している企業を中心に水素・燃料電池関連産業への参入が始まっています。水素・燃料電池産業に興味がある企業や知識・技能を高めたい技術者の皆様の参加をお待ちしています。

基礎から学べるので初心者の方でも安心です！業界の第一線の知識・技術を習得するチャンスです！

「やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト」

良質で安定的な正社員雇用の確保及び職場への定着を図るため、県内企業の働き方改革や生産性向上の取り組みを支援するとともに、求職者に対する就業支援等を行うプロジェクトです。

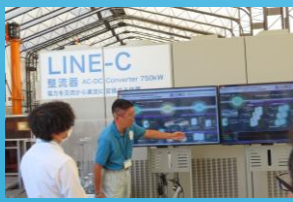
講義の様子



▲座学の様子



▲実習の様子



▲施設見学の様子

修了生の声

技術開発やマーケティング・ビジネス、燃料電池の最先端研究など、幅広い範囲をテーマとして扱い、各分野の第一人者の方々から直接お話を伺うことができ、受講前の期待を大きく上回りました。また、様々なバックグラウンドを持つ受講生の方々とも交流することができ、とても刺激を受けました。

水素・燃料電池分野のトップランナーの講師陣による講義をリアルタイムで受講することができる非常に貴重な機会となりました。業界動向やFCシステムの解説のみならず、学会やオンラインセミナー等では聞くことのできない開発の裏側・苦労話などを聞けたことが自分の仕事においても参考になりました。

水素、燃料電池の将来性については各講座の中で随所感じ、昨今のカーボンニュートラルへの取り組みとして最適なものだと感じました。そういった中で社会の水素の危険なイメージを取り除くこと、世界に取り残されないような環境づくりが非常に大切だと痛感しました。

分野違いの講義であったが、様々な製品の開発や設計の話を知ることができ、自分の考え方の幅が広がったと感じます。また、環境問題や世界各国のエネルギー事情について講義で何度も耳にしたので、自分自身が環境問題等について改めて考える良い機会になりました。

講義構成	
基礎学問	水素・燃料電池概論
	電気化学基礎・熱力学基礎・流体力学基礎
	品質工学
	知的財産
水素・燃料電池の基礎	燃料電池、水電解原理
	簡易セル組立・発電実習
単セル	セル構造
	特性評価
燃料電池システム	定置用(家庭用・業務用)
	自動車用
	フォークリフト用
	小型モビリティ用
	非常用・ポータルブル用
水素供給・利用	水素安全
	水電解
	水素ステーション
	水素貯蔵・輸送
	水素熱利用
普及環境	国の政策・各国動向
	市場動向
	法令・基準・標準
修了実習	システム設計・組立・運転
施設見学会	水素・燃料電池関連施設見学
成果報告会	修了実習報告会

【講師陣】2024年実績（変更の可能性有）

- 基礎学問、基礎技術、応用技術全般を大学講師陣、企業の第一線で活用されている(いた)方を講師として招聘

山梨大学:水素・燃料電池ナノ材料研究センター、クリーンエネルギー研究センター 等
民間企業:東芝エネルギーシステム、Panasonic、JFEコンティナ、豊田自動織機、三浦工業、日産自動車、東京ガス、プラザー工業、三菱ガス化学、ホンダ、インテリジェントエナジー、エノア、FC R&D、みずほR&T、カナデビア
団 体:技術研究組合FC-Cubic、日本自動車研究所(JARI)
水素供給利用技術協会(HySUT)、九州大学